

ロタウイルスワクチン予防接種の説明

ロタウイルス胃腸炎の重症化を予防します。令和2年10月1日から定期接種が始まります。
令和2年8月1日以降に生まれた方が対象です

【ロタウイルス胃腸炎とは？】

口から侵入したロタウイルスが腸管に感染して発症します。感染力が非常に強く、手洗いや消毒などをしっかりしても、感染予防をすることが難しいため、乳幼児のうちに、ほとんどの子どもが感染します。下痢や嘔吐は1週間程度で治りますが、下痢、嘔吐が激しくなると、脱水症状を起こす場合もあり、乳幼児の急性胃腸炎の入院の中で、もっとも多い感染症です。一生のうちに何度も感染するウイルスですが、初めてロタウイルスに感染した時は、特に重症化しやすく、まれに脳や腎臓に影響をおよぼすこともあり、注意が必要です。

生後、すぐに感染する場合もあるので、ワクチンの接種は、早くはじめて早く完了させましょう。

【ワクチンについて】

ロタウイルスワクチンは2種類あり、どちらも生ワクチン（弱毒化したウイルス）で、飲むワクチンです。医療機関で相談し、どちらかのワクチンを選んでください。2種類とも、**予防効果や安全性に差はありませんが、接種回数が異なりますので、他のワクチンとの接種スケジュールなどを考慮して選択します。**原則として同一のワクチンを接種しますが、やむを得ない場合は、医師にご相談ください。

初回は、生後2か月から出生14週6日後までに接種します。出生15週0日後以降の初回接種はおすすめしません。

ワクチン名	ロタリックス	ロタテック
接種時期	出生6週0日後から24週0日後	出生6週0日後から32週0日後
	※どちらのワクチンも、生後2か月から出生14週6日後までに1回目の接種をします。	
接種回数	2回接種（27日以上の間隔をあける）	3回接種（27日以上の間隔をあける）
成分の違い	生ワクチンは、弱毒ウイルスを感染させて、免疫をつけます。	
	経口弱毒生ヒトロタウイルスワクチン (1価) 通常ヒトに感染する、ヒト由来ロタウイルスを弱毒化したウイルス（1種類）	5価経口弱毒生ロタウイルスワクチン(5価) 動物由来のロタウイルスに、ヒト由来ロタウイルスを組み合わせた弱毒ウイルス（5種類）
接種後、特に注意する事	どちらのワクチンも、 接種後（特に1～2週間）は腸重積症（後述）の症状に注意し、症状がみられた際には、すみやかに接種した医療機関を受診してください。	

※出生〇週〇日後とは生まれた日の曜日から〇週目の同じ曜日

※出生14週6日後は生まれた日の曜日から15週目の同じ曜日の前日

なお、このワクチンは、ロタウイルス胃腸炎の発症そのものを7～8割減らし、入院するような重症化は、そのほとんどが予防できます。ただし、ロタウイルス以外の原因による胃腸炎には予防効果を示しません。

【ワクチンを接種する前】

赤ちゃんのお腹がいっぱいと、上手にワクチンが飲めない場合がありますので、接種前30分ほどは授乳を控えることをおすすめします。上手に飲めるよう、医師、看護師の指示に従ってください。

裏面へ→

〔予防接種を受けに行く前に〕

予防接種に行く前のチェック

- お子さんの体調は良いですか。
- 今日受ける予防接種について、必要性、効果及び副反応など理解していますか。
- 母子健康手帳は持ちましたか。
- 予診票の記入はすみましたか。

〔接種できない場合〕

明らかに発熱（通常37.5℃以上）している人

重度の急性疾患にかかっている人

過去に同じワクチンで強いアレルギー反応が出た人

未治療の先天的な消化管障害のある人や、過去に腸重積症をおこした人、重症複合型免疫不全（SCID）のある人

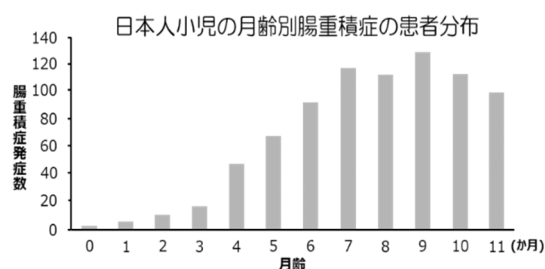
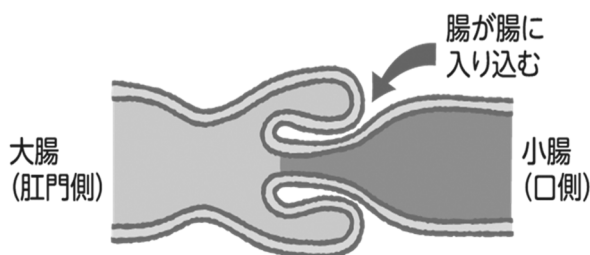
このほかにも、接種を中止したり、延期したりしたほうがよい場合もありますので、予防接種を受ける日には、あらかじめ予診票を記載して受診し、医師と相談してください。

〔ワクチンを接種した後〕

接種直後は、医療機関で30分ほど様子を見てから帰宅してください。少量でも飲み込んでいれば一定の効果があるとされていますので、接種後に吐き戻した場合でも再度の接種は必要ありません。ワクチン接種後2週間ほどは、赤ちゃんの便の中に、ワクチンのウイルスが含まれることがあります。おむつ交換の後など、ていねいに手を洗ってください。高熱、けいれんなど、異常を感じた場合は、すぐに医師の診察を受けてください。

〔腸重積症について〕

腸重積症とは、腸が腸に入り込み、閉塞状態になることです（下図）。0歳児の場合、ロタウイルスワクチンを接種しなくても起こる病気で、もともと、3～4か月齢ぐらいから月齢が上がるにつれて多くなります（下のグラフ）。早めに接種を開始し、完了させることがすすめられています。



腸重積症は、手術が必要になることもあります。発症後、早く治療すれば、ほとんどの場合、手術をせずに治療できます。以下のような症状が一つでも現れたら、腸重積症が疑われます。

- 泣いたり不機嫌になったりを繰り返す
- 嘔吐を繰り返す
- ぐったりして顔色が悪くなる
- 血便がでる

このような症状に気づいたら、すみやかに接種した医療機関を受診してください。接種した医療機関とは別の医療機関を受診する場合は、このワクチンを接種したことを医師に伝えてください。